

HOT コミュニケーション

地域貢献活動感謝状を贈呈

2月11日に、岩田地崎建設株式会社（札幌市）が、とうべつ学園の「まなびのみち」上部の除雪に地域貢献活動として取り組みました。この活動に感謝し、2月27日に三澤教育長より感謝状を贈呈しました。同社は、



とうべつ学園の建設に携わっており「工事させていただいた地域の人たちとの接点を大事にしていきたい」と話されていました。

地域貢献活動感謝状を贈呈

北海道電力ネットワーク株式会社札幌北ネットワークセンター（札幌市）、株式会社北海電工札幌支店北技術センター（札幌市）の2社が、1月17日から4回にわたって町営住宅敷地内での除雪作業



に地域貢献活動として取り組みました。この活動に感謝し、2月27日に後藤町長より感謝状を贈呈しました。

博愛号が配置されました

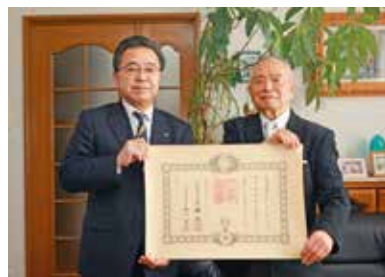
3月5日に、日本赤十字社から赤十字災害救援車「博愛号」が配置されました。「博愛号」は、各種災害に迅速かつ的確な救護活動を行うことや、日常での赤十字事業をより活発に実施するための車両で



す。自然災害・火災などの災害への出動はもとより、赤十字活動と地域福祉活動のために役立てていきます。

旭日単光章を受章

元町議会議員の村上弘志さんが、令和6年11月1日発令の高齢者叙勲で旭日単光章を受章され、3月21日に後藤町長から勲記、勲章が伝達されました。村上さんは昭和62年5月から平成15年4



月までの4期16年にわたり、町議会議員として建設常任委員会委員長等を歴任し、町の発展に貢献されました。

広 告

広 告

広 告

HOT コミュニケーション

食と環境保護の新たな取り組み

2月22日と23日に、ふれあい倉庫カルチャーホールで「食」を通して、環境や社会のためにできる行動を考えるイベントとして「とうべつゆるエコマルシェ 2025」が開催されました。地産地消にこ



だわった食の販売やエコを楽しむ体験コーナーなどのブースがあり、来場者は食とともに環境保護の大切さを学びました。

韓国民画の魅力を体感

3月7日から9日まで、ふれあい倉庫で「高賢愛・^{コヒョネ}美しい絹アート 韓国民画展^{ミンファ}」が開催されました。韓国民画は、庶民の生活とともに発展した民俗絵画で、今回展示された作品は絹や麻などに炭で絵を描き、



絵の具を5、6回重ね塗りして制作したもの。訪れた人は「色彩が綺麗で、目の保養になる」と話されていました。

交流を通してボランティアに広がり

3月15日に、町内でボランティアを登録している方を対象とした「ボランティアのつどい」がゆとろで開催されました。北海道医療大学モルックサークルの学生2名が講師となり、参加者31名が6



チームに分かれてモルックで競い合い、1投ごとに「上手!」「惜しい!」の声が飛び交うなど、盛り上がっていました。

大迫力のエレクトーンライブ

3月22日にふれあい倉庫で、当別町文化公演事業「川上天馬エレクトーンライブ」が開催されました。誰もが知る歌謡曲を巧みな編曲で披露する一方で、川上さんオリジナル楽曲による圧倒的な演奏技



術で観客を魅了。手拍子やコールで川上さんと観客が一体となり、派手な照明演出も加わり、会場は熱気に包まれました。

広 告

広 告